

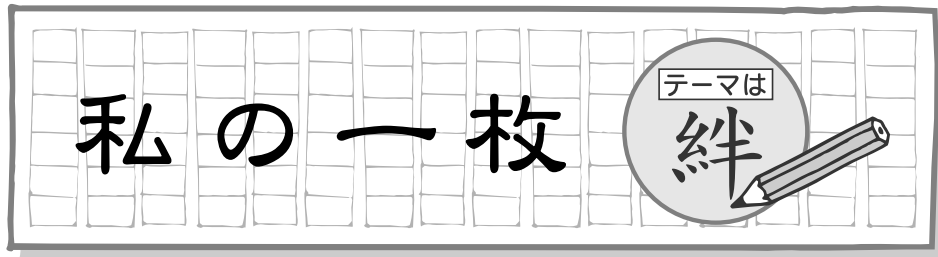


今治東ライオンズクラブ会報

We Serve ~われわれは奉仕する~

題字はクラブ会長の揮毫

エーバハルト.J.ヴィルフス国際会長テーマ『MOVE TO GROW “個人的成長と会員増強”』
336-A地区 ガバナー・スローガン『ライオンの未来に、情熱と夢を持って ウィサーブ』
会長スローガン『ライオニズムの原点に立ち返り、誇りをもって ウィサーブ』



太公望たちの絆



10年前、当クラブつり同好会にて鯛網をした時の一枚です。
その日は300キロという大漁に終始笑顔の堪えない一日でした。
ちなみに写真の鯛は4キロサイズです。



丹下 好郎



ワークショップの趣旨・意義について

RC 田中節太

組織（ライオンズクラブ）に常なる活力があり、時代と地域のニーズに密着した状態であり続けるために不可欠なことは、その組織を構成する個々人の自由なる発言と討議と、得られた結果の実行であることは論を待たないところであります。私達ライオンズクラブメンバーはその主旨にそって、委員会・理事会・例会と常時開催される諸会合を持ち、自由なる討議を展開しながら、さらなる発展への道程を歩み続けてまいりました。

しかしながら、今までの討議手法では全ての会員の意思を反映しているか、ということについて疑念なきにしもあらずなので、時には今回のようなワークショップ（研究集会・workshop）例会の手法もいいのではないかと試みられたのであります。

ワークショップには必ずブレインストーミング（創造的集団思考法brainstorming）を活用するという定めはないと思いますが、一般的で最も理解し易く、しかもキャビネット推奨のこの手法を活用しました。

キャビネットの資料によるとワークショップの目的は、全員参加型のグループワークによっ

てその問題点を考え、解決に向けた行動計画を作成し、立てた行動計画について共通の問題を話し合い、共に考えることで、会員の参加意識や意欲が高まり、その成果が期待できるとあります。

2月第2例会（19：00～21：00・6グループによるワークショップ・例会・3つのテーマによる設定）に出席された会員の皆さんには、それぞれの想いが残っただろうと思いますが、進行役を務めた私の願いは、我がクラブの全メンバーが、このブレインストーミングの主旨（発言の自由奔放・批判厳禁・質より量・便乗発展）さらに討論における姿勢（人の意見をよく聞き頭ごなしに否定しない、発表は簡潔に演説をしない、議論は前向き建設的に）に留意しつつ、我がクラブ独自のワークショップの定型をつくられ、委員会を中心とした諸会合にて活用されんことを願います。この手法に精通した人が多いほど、中身の濃い会合になるだろうと思います。例会にて、グループリーダーを務めていただいた6名の皆様、事前の3回の準備にもご出席をいただき、ご苦労さまでした。

役割分担表

No.	リーダー	発表者	記録係	記録係	評価表提出者	評価表提出者	評価表提出者
1	近藤(雄)	安見	平野	渡辺(健)			世良
2	中村	田湟	高橋	本宮	檀田	白川	矢野
3	越智(英)	井上	福本	久保	横田	寺町	壺内
4	箱崎	井出(剛)	越智(祥)	片上	近藤(剛)	渡辺(仁)	
5	村瀬	篠宮	門田	丹	越智(明)	稲本	
6	長野(雄)	長野(明)	谷口	玉井	渡辺(望)		





ワークショップを終えて — 総評 —

会長 長野 隆一

キャビネットより要請のあったクラブのリテンション（退会防止）を考えるワークショップの開催については、RCの田中節太さんを中心に数回の事前の準備会議が行われました。

その過程での検討により、今回の我がクラブのワークショップでは、テーマを「退会防止」だけでなく、「会員増強」「会員の質の向上」の二つを合わせ、三つのテーマを設定することと致しました。そしていよいよその当日、クラブメンバーを6グループに分け、抽選でテーマを選択した後、グループごとの話し合いが始まりました。

6～7人程度の各グループは、それぞれのテーマに基づいてブレインストーミングを行い、現状の問題点を洗い出すとともに、問題解決とテーマ（目標）の実現達成のために、いつ、だれが、どうやって行えばよいのかを話し合いました。参加者全員から数多くの発言（意見、提案）があり、最終的に行動計画表として整理され、その内容についてグループごとに発表がありました。

当日は19時から21時までの2時間のスケジュールでした。6つのテーブルでは議論が活発に展開され、あっという間に時間が経ったような感覚で、久々に熱気と活気に満ちた討論例会となりました。

これまでも一年に一回程度、夜の例会を利用しての討論会はありました。しかし、それは全員が発言をするというのではなく、一部の積極的な人たちの意見交換を多数の人たちが聞いているという実状であったように思います。

今回のワークショップのねらいは、全員参加と一人一人の発言回数を少しでも多くとれるようにということでもありました。そのために、7人までの小グループとしたわけですが、この意図はほぼ実現できたものと思います。

ところで、6グループから発表された行動計画の中、だれが行動すべきかのところで、会長や委員長の役職者を挙げているところもありました。しかし、多くのグループで必ず「一人一人が」と付け加えられているのには安心を致しました。

ライオンズクラブは民主主義の原則に則って運営される組織であり、一致団結して行動する、まさに『ウィサーブ』そのものであります。単年毎に入れ替わる会長や各委員長のリーダーシップは、その年度の特長を生かす意味でも大事なことではありますが、基本はやはり、一人一人の高い責任意識と参画意識にあるのだらうと思います。

そういった意味において、今回のワークショップの実施はクラブの活性化に非常に有効な方法であったと思います。今後、委員会や理事会等の諸会合でもワークショップを活用した討論会を開催してみるのも活性化策には効果があると考えます。

また、今後真価が問われるとすれば、今回のワークショップを空論に終わらせることなく、明日からでも即実行に移していくことにあります。このことを肝に銘じ、残り三か月の任期ですが、会員問題についての方策を練り、汗もかき、ささやかでも成果が見え、次年度以降への土産を作ることができれば幸いです。





安全な社会を目指して

篠宮博幸

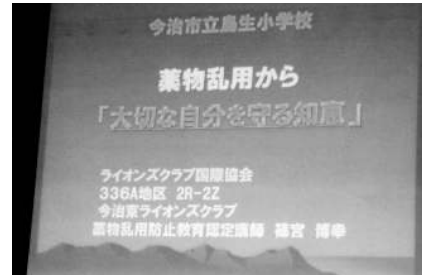
平成22年2月26日金曜日午後1時から、今治市立鳥生小学校屋内運動場にて5・6年生とその保護者、PTA役員を対象とした薬物乱用防止教室を開催しました。

子供達の薬物乱用に対する意識を高めることを目的とし、また、地域の大人として乱用の防止に努める役割を果たすべく我がクラブとしてはじめての試みでした。

さて、今回の教室開催に至るまでの経緯を説明させていただきますと、昨年11月21日土曜日に伊予市の「ウェルピア伊予」にて336-A地区の薬物乱用防止教育認定講師養成講座に、RCの田中節太さんからの要請もあり、今治東ライオンズクラブから6名で受講いたしました。他の今治のクラブは1、2名でしたが……。私も現役のPTAに関係する者の一人として興味を持って参加させていただきました。午後1時から5時までの4時間、基礎講座から始まり専門講座・実践講座など時間一杯の講座でした。

そして、翌々日の2Rスポーツ大会の打ち上げ時に、「どこかでこの教室が開催できないか」という話で盛り上がり、とりあえず私の出身校でPTAのつながりもある鳥生小学校にお願いしてみることにになりました。本来ならば、年度初めか一学期中には、企画をしてお願いしなければならないところでしたが、ちょうど学校でも講師を捜しているとのこと、とんとん拍子に話が進み2ヶ月ほどで開催することが決まりました。

とはいえ、我々も何せ初めてですし、何から



準備をすればよいかかわからず、とりあえず養成講座で頂いた資料とまた別に資料を送っていただき、日夜研究をしました。「啓発資料は何かよいか」「啓発DVDを流した後、小学生相手にどこまで話をすればよいのか」など、一問一答を繰り返し、学校との打合せを数回繰り返し、クラブのメンバーで当日参加される方に内容の説明ができたのは三日前でした。

やがて、当日を迎え校長室での挨拶の後、屋内運動場へ移動し、まずは校長先生の挨拶、それからクラブの会長挨拶そして、薬物乱用防止教室へと進みました。当日は、クラブのメンバーの認定講師7名と5名の合計12名が参加いたしましたが、全員で取り掛かる事としていましたので、教室の最後に全員で「薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。」のコールを子供達と一緒に言い、啓発資料を直接手渡し終了いたしました。

数日後、先生の評価、子供達の感想を頂き、厳しいご意見や非常に良かったと言う感想を頂きました。今後我がクラブの継続アクティビティとして開催するかどうかは、課題が色々ありますが、地域の大人として、たとえ専門的な知識が無くても命の大切さを伝えられる事のすばらしさがわかりました。ぜひ、他クラブの方にもお勧めし輪を広げてゆきたいと思います。そして、我がクラブの他の講師の皆さん次はよろしくお願いたします。





県立今治特別支援学校高等部卒業式、県立今治西高定時制卒業式に出席して

会 長 長 野 隆 一

3月1日(月)、9:30より県立今治特別支援学校高等部の卒業式があり、出席いたしました。卒業生は、普通科33名、訪問教育2名、産業科16名の計51名でした。

また、同日18:00より、今治西高定時制の卒業式があり出席をし、4名の卒業生に、今治東ライオンズクラブ賞として記念品を贈呈致しました。

定時制に入学してくる生徒の実状として、中学卒業後入学する者、高校を不登校になり中退後、高卒の資格を求めて入学する者、社会人として何年か経た後に入学してくる者等、いろいろなタイプの生徒がいます。数名のドロップもあったようですが、今年も無事4年の過程を終えて卒業していく4名の卒業生は、一様に晴れやかでありました。

ひとつ印象に残ったことは、在校生の送辞、

卒業生の答辞のどちらにも「今治東ライオンズクラブの協力を得て秋季運動会は楽しい思い出となりました」との言葉がありました。見学参加から、我々のクラブ関係者約40名あまりが青組として直接参加するようになって15年、今や我々抜きに定時制の運動会は開催ができていく状況です。責任の重さをひしひしと感じながら、彼らの送辞、答辞を感動しながら聞かせて頂きました。

今年度は定時制生徒との支援および交流を深めたいとの思いから、生活体験発表会には15名のクラブ員が出席。クリーンウォーキングやあすなろ交流ボウリング大会には定時制生徒の参加を得るなど、少しずつ交流の機会も増えて、お互い顔見知りになれたような気がします。これからも継続して彼らの力になればと、思いを新たにした今年の卒業式でした。

3月13日(日)、第38回2ゾーン合同例会が開催されました。例会・懇親会に先立ち記念卓話が執り行われ、我がクラブでは代表で、丹 英 人氏に卓話をお願いいたしました。今回はその卓話の内容を掲載します。



絶滅危惧種 産婦人科医の今

丹 英 人

産婦人科医の私が本当は口にしたくないのですが、私たち産婦人科医師は、ここ数年絶滅を危惧されるほど疲弊しております。少子化による分娩数の減少以上に、産婦人科医師、施設ともに減少を続けています。何故ここまで落ち込んでしまったのでしょうか？

ほんの10年前まで、厚生労働省は、医師数抑制のため国公立大学医学部を半分近くまで閉鎖し、また、各大学の定員も減らそうとしてきました。結局定員の削減だけに留まりましたが、たった10年後医療崩壊が叫ばれる程、医療界は荒廃してしまいました。特に産婦人科医師の減

少は突出しております。

現場を知らない中央省庁の考え一つで医療は崩壊の危機に陥ってしまったのです。現在は大学を減らすどころか、新設しようとしております。しかし新たに大学ができると、現在の中堅医師が指導のため移動しなければなりません。それにより、ますます現場が厳しくなります。

それと同時に医師適正配置という制度まで持ち出してきました。職業選択の自由を私たちから取り上げようとしております。無理に産婦人科医に育てようとしても続きません。

次ページへ続く→

合同例会卓話(H22.3.13)

このような将来の展望のない、一時しのぎだけで乗り越えられる問題ではありません。産婦人科の魅力がなくなったから、減少しているという認識を持った上で根本解決していかなければなりません。

では何故産婦人科が魅力をなくしてしまったのか。原因としては色々あります。もちろん医師の倫理観も大事です。しかし一番大きかったのは、新臨床研修制度に移行した2004年から2005年に入局がゼロとなり、やっと新制度一期生が入局と言う2006年に、福島の大野事件、横浜の看護師内診事件などの刑事事件が勃発し、マスコミの格好の話題になってしまったことが重なりました。

元々ぎりぎりのところで頑張っていた産婦人科医師のモチベーションは、非常に低下してしまいました。私たち産婦人科医は少ない人数で過酷な勤務をこなし、日常生活を犠牲にしてまで、世界一安全なお産を確立してきました。にもかかわらず訴訟のリスクが非常に高く、ある著名人が、「分娩はかつて無いほど安全になった。だが、かつて無いほど産婦人科医は危険になった。」と著書に記している程です。



さて、ニュースゼロという番組の中で、緊急アンケートがとられ、医療崩壊の原因を調べた結果がホームページに出ておりました。それによると、他の科の医師は保険点数抑制政策やコンビニ受診などが大きな原因としておりますが、産婦人科医師の回答は圧倒的に、訴訟のリスクを第一の原因としてあげております。

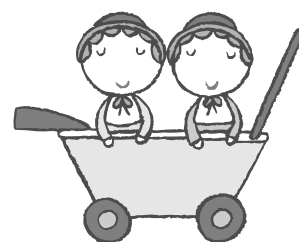
昨年より産科医療補償制度という保険制度ができ少しは改善傾向に向かうのではないかと思いますが、この制度の効果か、ここ2年ほどで産婦人科医師は微増しております。しかし、世界一安全な分娩を維持するにはまだまだ安心できる状態ではありません。よく妊婦たらい回しというニュースが流れますが、現場は限界まで来ているのです。限界を超え、受け入れができ

ない状況になっている、ということはあまり取り上げてくれません。どうしても感情論になりがちですが、施設も人も足りないのです。拒否ではなく、不可能なのです。法律でも規制があり、ベッド数や医師数によって、診療できる患者数は限られています。たらい回しにならないようにするには、ベッド数を増やし、医師数を増やす以外にありません。そのためには、年間500人の新人が必要ですが、やっと昨年400人を超えた程度です。しかも、新規入局者の大半が女性医師です。結婚、妊娠出産、子育てと稼働率が非常に低下してしまいます。また、これらを機に家庭に入る医師も多く、これを改善するためには、短時間労働や当直免除、休日出勤免除などを取り入れる必要があります。その分、誰かが頑張らなければなりません。絶対数も足りないところに、稼働率まで悪い状態ではどうしようもありません。

また、特殊な科のため、他の科の医師の応援も期待できません。ですから、妊娠中と言うだけで、風邪だろうと胃腸炎であろうと、救急病院を受診しても、診療拒否される事があり、結局、妊娠中の全ての病気を、産婦人科医師が引き受けなければなりません。365日24時間救急当番を一人で行わなければなりません。

私は、今治の産婦人科医師の中で、一番若い世代ですが、それでも後10年で、普通なら定年退職の年齢になります。体力的にも、後10年が限度だと思えます。それまでに若手の力が育っているか不安です。今治はまだ、人口の割に、分娩施設は保たれていますが、10年後どのような状態になっているか心配しております。

このような状況ですので、会合や行事の参加率が悪くなってしまうことが多々あると思いますが、何卒今治の安全な分娩のために、どうかお許しを願えればと思います。



メンバー近況報告

(3月ドネーション)

田中 節太 4/11(日)年次大会にて当クラブの薬物乱用対策について特別賞を受賞することになりました。(鳥生小学校での講演)お目出とうございます。

寺町 陽 50回連続例会出席表彰をしていただきました。100回連続を目標にがんばります。

箱崎 誠二 ①娘が無事高校を卒業し、大学入学が決まりました。
②ボウリング大会団体3位表彰ありがとうございました。
③ライオン誌に写真がありました。

矢野 昭利 今日はミシンの日です。

門田 健一 昨日、H22.3.3に入籍致しました。

会員全員より 門田健一さんの結婚を祝して！

誕生日ドネーション

壺内 和彦(3月3日) 安見 富雄(3月12日)

トピックス



連続例会出席50回表彰(H22.3.4/3月第1例会)



メンバー卓話(H22.3.4/3月第1例会)



懇親会での余興:右から2番目は箱崎幹事(H22.3.13/合同例会)



すがすがしい顔の現三役(H22.3.13/合同例会)

寺町篤一司法書士事務所

寺町 陽

〒794-0027 今治市南大門町1-5-22
TEL 33-3308 FAX 33-3380

ジュエル彩

代表者 長野 功

〒794-0015 今治市常盤町1-5-13
TEL 31-3703 FAX 33-1317
<http://jsai.info/>

1F 宝飾品、腕時計
2F メンズ&レディースの洋服(ブランド品)を販売しております。
ご来店をお待ちしております。

行事報告・例会・理事会報告

3月行事報告

1日(月)		17日(水)	
2日(火)	例会打ち合わせ・計画委員会	18日(木)	PR委員会
3日(水)		19日(金)	
4日(木)	第1例会(指名会)	20日(土)	
5日(金)		21日(日)	
6日(土)		22日(月)	
7日(日)		23日(火)	第2理事会・新会員スクール
8日(月)		24日(水)	
9日(火)	第1理事会	25日(木)	
10日(水)		26日(金)	
11日(木)		27日(土)	川之江中央LC20周年記念・伊予三島法皇LC30周年記念式典
12日(金)		28日(日)	
13日(土)	2Z合同例会	29日(月)	例会打ち合わせ・計画委員会
14日(日)		30日(火)	
15日(月)	例会打ち合わせ・出席委員会	31日(水)	
16日(火)			

2月第2例会

日時 平成22年2月18日(木) 18:30～
 場所 今治国際ホテル「ダイヤモンド」
 出席者 47名(49名中) 95.9% 補正後98.0%
 メーク・アップ 1名
 ・会長挨拶
 ・委員会報告
 ・食事
 ・幹事報告及び終末事務
【ワークショップ】
 ・ワークショップ開会挨拶
 ・ワークショップについて
 ・出席率の発表

2月第2理事会

日時 平成22年2月23日(火) 19:00～
 場所 事務局会議室
 理事メンバー 14名 RCA 委員長 2名
 メーク・アップ 1名
《報告事項》
 1. 会長報告
 2. 指名委員会報告
 3. あすなる学園ボウリング大会収支報告
 4. 第56回地区年次大会について
 5. 連続例会出席について
 6. その他
《審議事項》
 1. 愛媛県立今治西高定時制 卒業証書授与式の記念品について
 2. その他
《協議事項》
 1. 合同例会卓話について
 2. その他
《依頼事項》
 1. 討論例会の資料のまとめについて
 2. その他

3月第1例会

日時 平成22年3月4日(木) 12:15～

場所 今治国際ホテル「ダイヤモンド」
 出席者 42名(49名中) 85.7% 補正後93.9%
 メーク・アップ 4名
 ・会長挨拶
 ・指名会
 ・連続例会出席表彰
 ・食事
 ・報告事項
 ・メンバー卓話
 ・幹事報告及び終末事務

3月第1理事会

日時 平成22年3月9日(火) 19:00～
 場所 事務局会議室
 理事メンバー 12名 委員長 1名
 メーク・アップ 1名
《報告事項》
 1. 会長報告
 2. 2月月次収支報告について
 3. 【地区年次大会】第2回準備打合せ会議ご案内について
 4. 次期地区委員長・委員研修会のご案内について
 5. その他
《審議事項》
 1. 新会員について
 2. その他
《協議事項》
 1. その他
《依頼事項》
 1. その他

編集窓

バンクーバー冬季五輪での日本勢のメダル獲得数は、銀3、銅2の計5個に終わった。中でも真央ちゃんの活躍には感動を与えてもらったが、それ以上にキム・ヨナ選手は、すばらしかった。一発でファンになった。韓国ドラマ冬のソナタに出てくるユジンに似ていると思うのは私だけか。全20話のDVDを最初から観ている私は何メダル？4年後のソチでも更なる感動を与えてもらいたいものだ。 Y.O

例会日 第1・第3(木曜日) 12:15
 例会場 今治国際ホテル
 会長 長野隆一
 今治市中寺1005 ☎0898-22-1399
 幹事 箱崎誠二
 今治市本町1-2-2 ☎0898-32-0505
 会計 寺町陽
 今治市南大門町1-5-22 ☎0898-33-3308

発行日 平成22年4月1日 毎月1回発行
 発行所 ライオンズクラブ国際協会336-A地区
 2R・2Z今治東ライオンズクラブ
 事務局 今治市旭町1丁目4-6(今治国際ホテル内)
 メールアドレス higasilc@dokidoki.ne.jp ☎0898-32-3350
 編集責任者 PR委員会(委員長 越智祥文) ☎0898-36-6238
 印刷所 有限会社 ワードアイ ☎0898-55-4282
 メールアドレス info@wordeye.co.jp